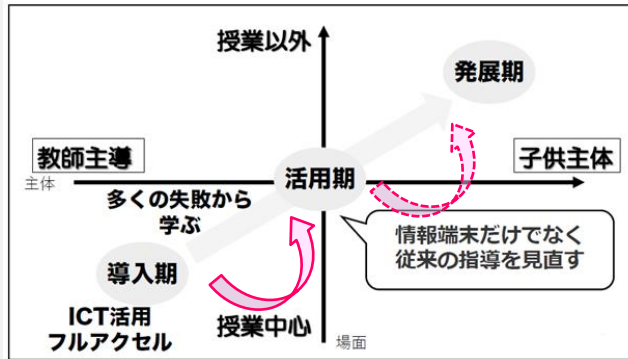


福岡県学校教育 ICT 活用推進方針（小・中学校版）

～導入期から活用期、そして発展期へ～

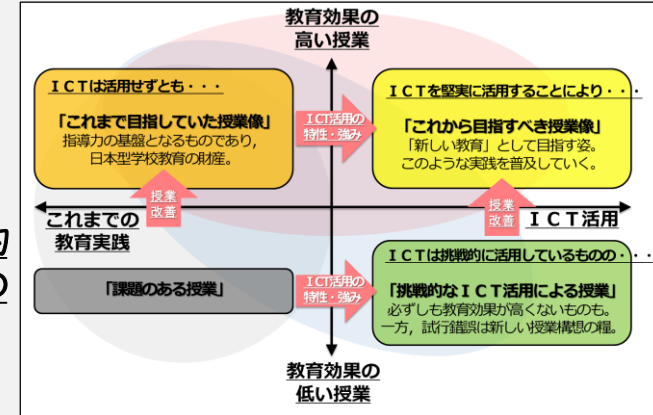
『ICT活用推進方針』の目的

- 「GIGAスクール元年」と言われる令和3年度、全ての小・中学校に1人1台端末と高速ネットワークが整備され、様々なICT活用実践が着実に進捗している。（「新しい教育」の実現に向けた「変化の芽」）
- ICT活用の進捗状況や活用水準の差異といった従来からの課題に加え、資質・能力の着実な育成、安心・安全に活用できる条件の整備、学校における働き方改革といったICT活用の進捗に伴い新たに顕在化した課題もある。
- 教育の機会均等と水準確保を図りつつ、ICT活用の健全な推進を図るため、**福岡県が目指す「新しい教育」の姿やその実現に向けて取り組む事項**について、関係者間で共有しておくことが重要。
- 今後の3年間程度で、全ての小・中学校にて、**導入期から活用期へと着実に進捗させ、発展期に向けて取り組むこと**を目指す。



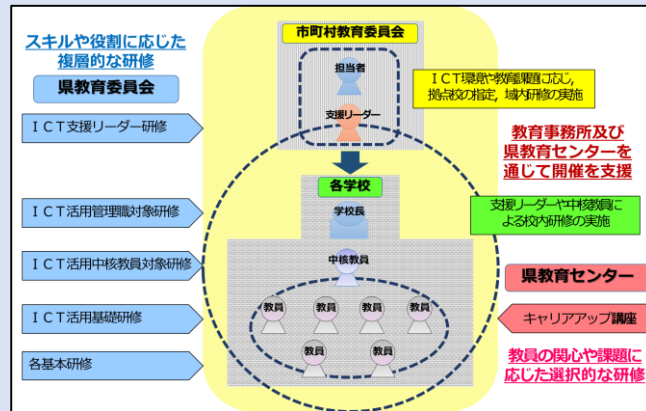
ICT活用による「新しい教育」の姿

- 福岡県が目指す「新しい教育」の姿とは、**新学習指導要領が掲げる資質・能力の育成を「目的」とし、ICT活用を「目的」の実現のための「道具立て」、授業改善に向けた「有効な手段の一つ」とする教育。**
- **これまでの教育実践とICT活用とを、教育目的や児童生徒の実態や発達段階に応じて、1コマの授業/1つの単元/年間指導計画/小中9年間の教育課程等の各階層の中で、適切に組み合わせ、効率的・効果的に教育活動を展開する。（学習指導構想に基づくベストミックス）**
- ICT活用の特性・強みを生かして、活用する場面や機能を工夫することで、「**主体的・対話的で深い学び**」の実現、**個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実、今まではできなかった学習活動の実施等**が可能になると期待される。



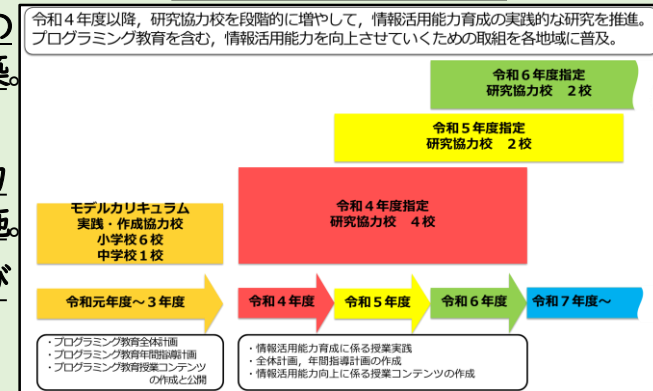
進捗状況や活用水準の差異への対応

- 市町村・学校に対する**県教委の支援体制（ICT活用推進班）の継続**。
- **教育行政や校務におけるクラウドサービスの活用や1人1台端末の利用促進に資する、情報セキュリティポリシーの策定・改訂への指導助言**。
- ICT活用推進のための基盤づくりを推進するため、**スキルや役割に応じた複層的な研修を継続**。
- **ICTを効果的・効率的に活用した模擬授業や校内研修についての協議の、基本研修での実施など研修内容を充実**。
- 教員自らが関心や課題に応じて、**選択的に受講できる形態の研修の開催**。



ICT活用による資質・能力の着実な育成

- 県教委の重点課題として、**ICT活用の特性・強みを生かした効果的・効率的な指導方法やカリキュラム・マネジメント等についての実践研究を実施し、3年間の期間終了を待たずに、途中経過や試行錯誤の経緯を含めて随時情報提供**。
- 生徒指導・教育相談におけるICT活用により、**実態把握の頻度の向上や、情報共有や分析の効率化を進め、問題行動の未然防止や組織的な教育相談体制を構築**。
- 「情報活用能力向上事業」を拡充し、**プログラミング教育を含む情報活用能力の育成のため実践的研究を継続的に実施**。
- **各教科での主体的・対話的で深い学びやSTEAM教育やPBL教育等の発展的な実践への挑戦を支援**。



安心・安全にICT活用できる条件の整備

- **全教員が自身の情報モラルを高め、インターネット上の有害情報の問題や社会の情報化の影響等について認識し、人権感覚に裏打ちされた情報モラルについて、児童生徒に対して適切に指導できるよう、研修・研究を充実**。
- 県教委の重点課題として、**道徳科、学級活動、総合的な学習の時間等の特質に応じた情報モラルに関する指導の充実についての実践研究**を実施し研究成果を発信。
- **児童生徒の健康への配慮**について文部科学省ガイドライン等に従って指導助言。

ICTを活用した学校における働き方改革

- **ICT活用による業務の効率化は、学習活動の充実と同じくらい重要であるとの認識を若年教員から学校管理職まで共有するため、基本研修等において周知徹底**。
- **ICTを活用した学校における働き方改革についてのリーフレットを作成し、取り組みやすい事例を、実際に取り組んだ際の感想と併せて紹介することにより、全学校においてICT活用による業務改善・効率化を実感されること**を目指す。